

### 第3回 こんぜの里周辺施設のあり方検討委員会 議事要旨

日 時	令和5年3月22日（水） 午前10時00分～		
場 所	栗東市農林業技術センター		
出席者	【委員】	高橋 卓也	滋賀県立大学 環境科学部 教授
		加藤 恵里	滋賀県立大学講師
		澤 幸司	金勝生産森林組合より推薦
		宮城 定右衛門	明日の走井を考える会より推薦
		玉木 圭介	滋賀南部森林組合より推薦
		田中 義信	一般社団法人栗東市観光協会より推薦
		吉永 義則	市民代表
	【事務局】		
欠席者	【委員】	—	
次 第	1. 開会 2. あいさつ 3. 報告事項 (1) こんぜの里周辺施設における施設運営の方向性（素案）に係る意見聴取結果 4. 協議事項 (1) こんぜの里周辺施設における施設運営の方向性（案）について 5. その他 (1) 委員会資料等の市ホームページへの掲載について 6. 閉会		

#### 1. 開会

#### 2. あいさつ

- ・内藤部長によるあいさつを行った。

#### 3. 報告事項

- (1) こんぜの里周辺エリアに関する追加分析について
- ・事務局より資料説明を行い、報告事項に関する現状整理に関する委員の意見を頂戴した。
  - ・特に意見は出されなかった。

#### 4. 協議事項

- (1) こんぜの里周辺施設における施設運営の方向性（案）について
- ・事務局より資料説明を行い、こんぜの里周辺施設における施設運営の方向性（案）に関する委員の意見を頂戴した。
  - ・以下、主な意見。

高橋委員長：最終回ということもあるので、ぜひ積極的にご意見を頂きたいということと、来年度以降につながる点について意見を頂きたい。当然ながら今回案として出てきた

ターゲットとか提供サービスとか方向性についてもご意見を頂きたい。

加藤委員 : 委員長の話にもあったが、具体的に今回の方向性を決めて、それに向けて次年度以降どういったやり方でやっていけたらいいのかというところを議論すべきである。

高橋委員長 : とりあえず、方向性、コンセプト、ターゲット、提供サービス、施設運営の方向性についてご意見を伺いたい。

澤委員 : 方向性について、うまくまとめていただいていると感じるが、核となる施設、民間の目玉となる施設の誘致について記載されていないが、例えば商業施設や企業の本社機能の立地が考えられないか（例えばパソナの淡路島への本社機能の移転や滋賀県内でのクラブハリエ等）。

素晴らしい自然環境の中で企業が立地してもいいと思っているのだが、その核となるようなものを何とかどうにかできないかと考えている。

宮城委員 : 今までの会議の中で平谷球場についての話があまり出ていなかった。あれだけの広大な土地があるため、サッカーやラグビーなど、野球にこだわらず、誘致して、その核とすることも考えられないか。やはり将来の方向性を考えるともったいないような気がする。

事務局 : オートキャンプ場やフォレストアドベンチャー等の民間事業者の施設があることがこんぜの里エリアの目玉ではないかと考えている。また、今年度の事業者サウンディングの中で、本事業に関心がある事業者を対象に、より詳細な形で踏み込んだサウンディング調査を実施したいと考えている。

吉永委員 : こんぜの里に向かう場合、途中の道路が急であったり、拡幅が狭かったりするため、それらの改善が大事と考えられる。

田中委員 : 今回、まとめていただくという趣旨においてはまとまっていると考えられるが、施設の管理運営について検討するために、民間に委託すべきかどうか、選択肢があるべきではないか。また、コンセプトにも違和感がある。もっと尖ったコンセプトでもよいのではないか。また、森遊館は、栗東市森林体験交流センターという正式名称があり、単純な宿泊施設ではないということを念頭に検討頂きたい。

高橋委員長 : 吉永委員からのインフラ関係に関するご意見について、議事録として残すべきではないか。

事務局 : 本検討委員会の議事録を含め、各回の資料はホームページへの掲載を予定している。また、ご指摘頂いた栗東信楽線については県道となるため、県との協議となるが、現時点でなかなか拡幅は難しい。

宮城委員 : 市長を先頭に道路の拡幅に取り掛かってもらう必要があるのではないか。

事務局 : 県との協議となるが、拡幅する場合に地権者の方々の協力のみならず、道の構造についても改善する必要がある。委員の皆様から頂いたご意見を本資料に反映することが考えられる。

澤委員 : こんぜの里周辺エリアの検討については、行政の組織の中で、検討体制を一元化する形で、振興策を一本化してほしいと考えている。

また、確かに空家がかなり出てきている。空家の振興策を含めていろいろな課題が出てくる。行政が一本化した形で検討してもらうことで、課題の一つであるこの周

辺の整備の検討も1つの方向性として固まっていくのではないかと。

高橋委員長：今回の対象となる4施設だけで考えるというのではなく、地域住民を含めた協議体が必要であり、その中で今後の施設のあり方を決めてほしいということ进行全面に出すということによいか。

委員：異論なし。

田中委員：「森に学び森で過ごす森のゲートウェイこんぜの里」だが、具体的にどういうことを言いたいのか注釈があるとよいのではないかと。

宮城委員：オートキャンプ場が今すごく人気があるという話を聞いたが、今後來訪客が増えてくる中で、少し変化に富んだ場所を作らなければいけないのではないかと。オートキャンプ場を運営する会社を軸に幅を広げていくというのも考えられるのではないかと。

高橋委員長：ターゲット層として小中学生から地域住民に変更されているが、何かご意見はあるかと。

事務局：森の未来館にてやまのこ事業を生涯学習課と農林課で協力しながら続けており、子どもたちが森林を体験していろいろなことを学んでもらうというところで、子どもたちが集える場所、森を感じてもらえる場所にするというものを視点として置きたいと考えている。

加藤委員：ターゲット層についてどこの層を中心として狙うのかという方向性としてシンプルでわかりやすくすべきである。

高橋委員長：各ターゲットを横並びにするというより、特に注目する層を設定すべきではないかと。

事務局：事業者のヒアリングの中においては、ファミリー層をターゲットにすべきとの意見が多く出された。

高橋委員長：なぜ特に子育て層に注目しておられるのか。

事務局：既にファミリー層が一定、バンガロー村に来ており、今後オートキャンプ場もできるというところで、ファミリー層向けの施設がすでに立地しているというところが挙げられる。

吉永委員：森の未来館のことを知らない人がたくさんいるのではないかと。子どもと親と一緒に来るような企画をして、こんぜの里を知ってもらうことが重要なのではないかと。

事務局：市内では、野洲川のくりちゃんファミリーマラソン等をすでに実施しており、フィールドの1つとして平谷球場を使って何かしらの事業をするということも考えていきたい。

高橋委員長：ターゲットについては、1つの方向性としてファミリー層を中心としておくということによいか。

また、先ほどから意見が出ている地域住民も含めた協議体についても、方向性の中に入れるということはいかがかと。

加藤委員：4施設だけでなく、こんぜの里周辺エリアという1つの共通の場所についての話し合いの場（地域住民の参加も想定）をつくるべきではないかと。

宮城委員：オートキャンプ場に広報用のチラシを設置させて頂くことで、別のエリアに行ってもらえるということに繋がるのではないかと。

澤委員：今回まとめた案をどのように発信していくかについて、文言として入れるべきでは

ないか。

高橋委員長：地域の協議会等で今回の検討結果について、ご説明させていただくということは可能か。

事務局：金勝学区の地域振興協議会については、今年度1回ヒアリングさせていただいた。そのため、引続き地元の協議会等に説明するというのは当然あり得ると考えている。

高橋委員長：今後も説明の場があるということで承知した。

澤委員：情報発信の必要性については、今後の取組に記載すべきである。

高橋委員長：市民や地域住民に向けた情報発信の必要性についてご意見頂いた。また、市民と地域住民への発信と協議体の構築を検討していただくということで、どうか。

吉永委員：特徴的なものを地域から出してもらって、森遊館に泊まって、朝早く行ったら雲海が見られるかもしれないということも発信すべきではないか。

高橋委員長：単に民間活力を導入するだけではなく、地元の人ならではの情報、知識を取り入れていただくというのはそれこそこんぜならではの特色を出す上でぜひとも欠かせないことではないかと考える。

宮城委員：栗東市内の地域で行われる事業については栗東市民全員がある程度理解をしてもらう必要がある。

事務局：情報発信の手段として、主には広報誌、ホームページ、Facebookがある。

澤委員：皆さまがおっしゃるとおり、こんぜを知らない人が多い。そのため、こんぜの魅力を観光行政の中で捉えていただいて、発信していただけるとありがたい。

田中委員：観光協会としては観光振興ビジョンの中でそれを中心に担う団体として栗東市の広報をやっているのだが、市との役割分担が明確にできていない。栗東市としては、施設によつての担当課があるわけだが、市としての考え方をある程度持っていただきたい。

玉木委員：森林管理を業としている者として、森林そのものが資源であり、地域活性化のために観光を含む資源として捉えていただいているのは大変ありがたい。

高橋委員長：林業そのものが森林空間サービス産業であるということも言われているため、そういう面で森林所有者の方にも今後いろいろ関わっていただくという場面が出てくると考えられる。

宮城委員：将来、観光客を呼ぶ1つの大きな目玉として、馬車の活用を考えていくべきであると考え。

高橋委員長：今回出された意見を踏まえ修正を行い、こんぜの里周辺施設における施設運営の方向性（案）のとりまとめとして終了させていただきたい。委員の皆様におかれましては毎回毎回非常に熱心に資料を読み込んでいただいて、いろいろご意見をいただいた。事務局の皆様にも丁寧にご対応いただき心よりお礼申し上げたい。

## 5. その他

### (1) 委員会資料等の市ホームページへの掲載について

- ・事務局より委員会資料等の市ホームページへの掲載について説明を行った。

6. 閉会